

デザイン総合制作実習



訓練最後のプレゼンをしましょう！

デザイン総合制作実習では訓練の最後として、ご自身のポートフォリオサイトを利用してプレゼンをしましょう！皆さんの訓練と就活の成果を発表を通じて、更なる未来へと繋げましょう!!

ポイントは受容と共感です！

受容と共感について

「受容」と「共感」は、人間関係において非常に重要な概念です。特に、カウンセリングやコミュニケーションの場面で頻繁に用いられます。

受容とは？

受容とは、相手の言動や考え方を、自分の価値観で判断したり、評価したりすることなく、ありのままに受け入れることです。

共感とは？

共感とは、相手の気持ちや考え方を、自分の立場から理解し、共有しようとしています。

特徴

非評価: 良い悪いを判断せず、ただ事実として受け入れる
全容の把握: 相手の言動の背景や意図を理解しようとする
無条件の肯定: 相手の存在そのものを肯定する

特徴

感情移入: 相手の立場に立って、その人の気持ちを感じようとする
視点の共有: 相手の視点から物事を考えようとする
言葉で伝える: 「それはつらいね」「よく分かるよ」など、言葉で共感を示す

具体例

相手が失敗したとき、「次はうまくいくよ」と励ますのではなく、「大変だったね」と共感する
相手が異なる意見を持っていたとき、「それは違う」と反論するのではなく、「なるほど、そう考えるんだね」と傾聴する

具体例

友人が恋愛で悩んでいるとき、「そんなことあるよね」と自分の経験を語り、共感する
同僚がプレゼンで失敗したとき、「プレゼンって難しいよね」と相手の気持ちを理解する

なぜ受容と共感が大切なのか？

信頼関係構築: 相手に受け入れられている、理解されていると感じてもらうことで、信頼関係を築くことができる。
コミュニケーション円滑化: 相互理解を深め、より円滑なコミュニケーションが可能になる。
相手の成長を促す: 相手が自分の気持ちを理解してもらえたと感じると、自己肯定感が高まり、成長につながる。
心の安定: 相手に共感することで、自分の心の安定にもつながる。

作品発表では
ぜひ、「受容」と「共感」
を意識してみましょう！

まとめ

最後の発表は、皆さんのお互いの
良いところを見つけていきましょう！

受容と共感は、相手との関係性を良好にする上で非常に重要な要素です。
これらのスキルを身につけることで、より豊かな人間関係を築くことができるでしょう。

日常生活の中で、意識的に受容と共感を実践することで、より良好な人間関係を築くことができるでしょう。

